

## 【令和3年度予算概算決定額（所要額） 15,602（15,547）百万円】

### <対策のポイント>

野菜の生産・出荷の安定と消費者への安定供給を図るため、**価格低落時における生産者補給金等の交付等**により、**野菜価格安定対策を的確かつ円滑に実施**します。

### <事業目標>

野菜の取引価格の安定化（取引価格が平年比80%～120%に収まる期間の割合：56% [平成28年度] → 68% [令和7年度まで]）

### <事業の内容>

### <事業イメージ>

#### 1. 指定野菜価格安定対策事業

指定野菜の価格が著しく低下した場合に、補給金を交付します。

#### 2. 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

特定野菜の価格が著しく低下した場合に、補給金を交付します。

#### 3. 契約指定野菜価格安定対策事業

契約取引される指定野菜の価格が著しく低下した場合等に、補給金を交付します。

#### 4. 契約特定野菜等安定供給事業

契約取引される特定野菜の価格が著しく低下した場合等に、補給金を交付します。

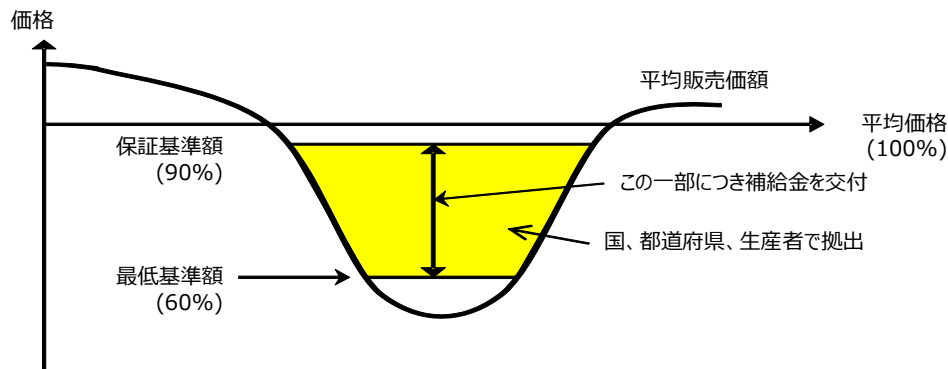
#### 5. 契約野菜収入確保モデル事業

産地要件によらず契約取引される指定野菜の価格が著しく低下した場合等に、交付金を交付します。

#### 6. 緊急需給調整事業

重要野菜等の価格が著しく低下し出荷調整行った場合等に、交付金を交付します。

#### [基本の仕組み]



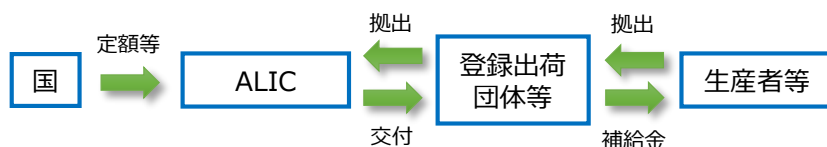
#### 【指定野菜（14品目）：国民消費生活上重要な野菜】

キャベツ、きゅうり、さといも、だいこん、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、レタス、たまねぎ、ばれいしょ、ほうれんそう

#### 【特定野菜（35品目）：国民消費生活上や地域農業振興の観点から指定野菜に準ずる重要な野菜】

アスパラガス、いちご、えだまめ、かぶ、かぼちゃ、カリフラワー、かんしょ、グリーンピース、ごぼう、こまつな、さやいんげん、さやえんどう、しゅんぎく、しょうが、すいか、スイートコーン、セルリー、そらまめ、ちんげんさい、生しいたけ、にら、にんにく、ふき、ブロッコリー、みずな、みつば、メロン、やまのいも、れんこん、ししとうがらし、わけぎ、らっきょう、にがうり、オクラ、みょうが

### <事業の流れ>



# 野菜・施設園芸支援対策事業（時代を拓く園芸産地づくり支援等）

【令和3年度予算概算決定額 1,059（1,114）百万円の内数】

## <対策のポイント>

実需者ニーズに対応するとともに、園芸作物の生産を拡大するため、**水田を活用した新たな園芸産地の育成、まとまった面積での機械化一貫体系等の導入、端境期の出荷等に取り組む産地の育成等**を支援します。

## <事業目標>

加工・業務用野菜の出荷量（直接取引分）の拡大（98万トン〔平成29年度〕→145万トン〔令和12年度まで〕）

## <事業の内容>

### 1. 水田における園芸作物の導入支援

水田農業における高収益な園芸作物の導入・産地化を実現するため、**新たに園芸作物を導入する産地における合意形成や、園芸作物の本格的な生産を始める産地における機械・施設のリース導入の取組等**を支援します。

### 2. 労働生産性を抜本的に高めた野菜のモデル産地形成支援

一定規模以上（露地野菜5ha以上、施設園芸1ha以上）での**水田転換やほ場整備と併せて、機械化一貫体系の導入**や生育予測システムの導入等の取組を支援します。（農地耕作条件改善事業により支援）

### 3. 国産が必要に届いていない端境期の野菜の生産拡大支援

実需者からの国産野菜の安定調達ニーズに対応するため、**需要に届いていない品目や作型（端境期）の出荷に必要な新たな生産・流通体系の構築や作柄安定技術、新たな作型の導入等**を支援します（15万円/10a）。

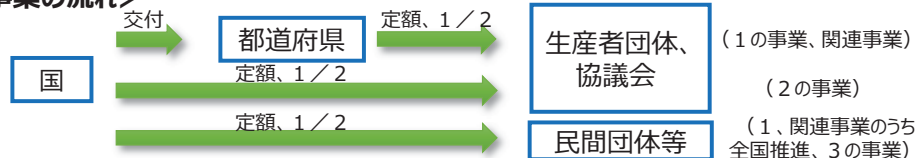
※ 対象品目として、にんにく・しょうが・アスパラガス・さといも・えんどう等5品目を追加（R2:14品目→R3:19品目）

## （関連事業）

### スマート農業総合推進事業のうち次世代につなぐ営農体系確立支援

施設園芸産地における**データ収集・分析機器の活用、既存ハウスのリノベーションなど、データを活用して生産性・収益向上につながる体制づくり等**を支援します。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 1 水田での園芸作物の導入支援

○園芸作物の新たな導入への支援  
（取組主体）



産地の合意形成

試験栽培

○本格的な園芸作物生産への支援  
（取組主体）



生産者、実需者等から構成される協議会

土壌改良資材

機械・施設のリース導入

### 2 労働生産性を高めたモデル産地形成支援

○水田転換やほ場整備と併せた**機械化一貫体系**や**生産予測システム**の導入への支援



畝立同時施肥機

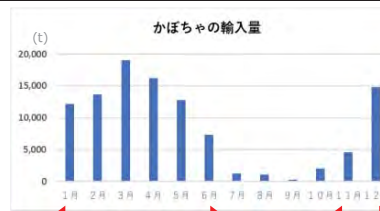
全自動移植機

収穫機

機械化一貫体系

生育予測システム

### 3 端境期の野菜の生産拡大支援



国内産が必要に届いていない**端境期**に**輸入が増加**

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
端境期	貯蔵	出荷						播種			収穫	貯蔵
作型									播種			出荷
普通作型					播種	定植				出荷		



予冷库・貯蔵庫のリース

作柄安定技術の導入

【お問い合わせ先】 生産局園芸作物課（03-3501-4096）